



郷小だより

茅ヶ崎市立浜之郷小学校

2024年11月29日

12月号

校長 安倍 武雄

学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

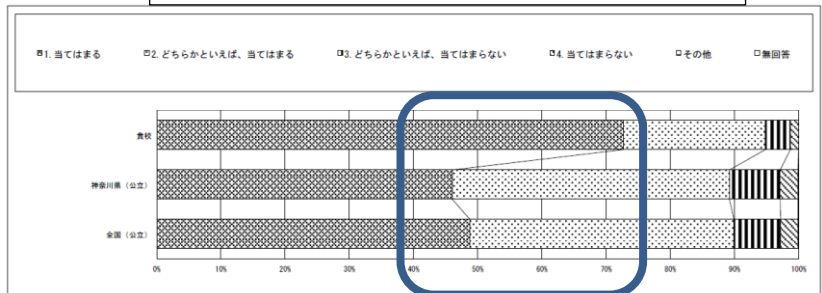
子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

調査結果が始まり

全国学力学習状況調査というものがあります。毎年4月に6年生を対象に実施され、8月末に結果が公表されます。浜之郷小学校の特徴的な部分を検討した結果については別刷りの文書をクラスルームにて配信いたしますのでぜひ丁寧にご覧いただきたいのですが、ここでは、トピック的にいくつかの結果をお伝えしたいと思います。

質問番号(10) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う

学校としてうれしかったのは、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」という調査項目です。グラフをご覧になっていただければわかるように、全国や県と比較しても大変高い数字になっています（対国+23.9Pt. 対県+ 26.7Pt.）。日頃教室を回っ



ても、休み時間の様子を見ていても、先生方の言葉に否定的なことはほとんど出てきません。授業においても、普段の生活においても、正解不正解が大切なのではなく、そこに至った過程を大事にしていくという私たちの姿勢が子どもたちにも伝わっているのだなと思うと、本校の教育方針が間違っただけではなかったということに自信がもてます。今後も、一人ひとりの良さに目を向け、「自分は自分のままでいい」という自己肯定感を高めていきたいと思います（「自分には、よいところがあると思う」という設問でもポイントが高いという結果が出ています）。

一方、学校だけでは解決できない課題もあります。「朝食を毎日食べている」の設問では、およそ10%の子が毎日食べていないという結果となりました。これは、3・6年生が実施する市の調査結果とも一致し、この学年だけではなく学校全体の課題だということも分かります。朝食を摂ることの意味は、農林水産省 HP よれば、「朝食を食べないと、午前中、からだは動いても頭はボンヤリ、ということになりがちです。脳のエネルギー源のブドウ糖を朝食でしっかり補給し、脳とからだをしっかりと目覚めさせましょう。」「体内リズム」が自分の「生活リズム」とズレてしまうと、からだにとってはとても大きなストレス。ズレによってからだの心身のバランスが保てなくなると、しっかり活動することができなくなったり、感情が不安定になってしまうことさえあるのです。「体内リズム」と「生活リズム」のズレをなくすには、まず朝食をしっかりとることがとても大切。」となっています。

調査結果は終わりではなくそれが始まりです。ぜひ、それぞれのご家庭で「できること」に取り組んでいただくとともに、家庭と学校が手を携えながら子どもたちの幸せな成長のために心を尽くしてまいりますと思います。

11月16日(土)に、推進協主催の「郷の子フェスティバル」が開催されました。秋らしい天気の中、事前に申し込みをしていた子どもたちが参加をしました。体育館での開会式に続き、鶴嶺中学校の吹奏楽部が演奏をしてくれました。3年生が引退し、1・2年生の演奏ですが、なかなかどうしてこれまでの練習が生きた迫力のある演奏でした。後半は大学生のボランティアによる、プログラミングで動かす工作でした。音や光、動きなどに反応するセンサーを使ったおもちゃ作りで子どもたちも集中して取り組んでいました。推進協をはじめ、ご協力いただいた皆様に感謝いたします。